

# Panasonic

技術基準適合証明書

陸上移動局免許申請対象品

コンパンダ方式

ENG ワイヤレス送信機

品番 WX-TA840

## 取扱説明書

保証書別添付

- この説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと、大切に保存し、必要なときお読みください。
- 保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめて、販売店からお受け取りください。

このたびは、ラムサコンパンダ方式 ENG ワイヤレス送信機をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。



上手に使うって上手に節電

# もくじ

---

安全上のご注意	3
特長	5
使用上のお願い	6
上手な使いかた	7
各部の名前	8
乾電池の入れかた	9
音声入力コネクタの接続	10
マイクロホンクリップの取り付けかた	10
ウインドスクリーンの取り付けかた	10
周波数設定のしかた	10
送信出力の設定のしかた	15
使いかた	16
定格・付属品	18
周波数特性	19
保証とアフターサービス	裏表紙

# 安全上のご注意 必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



**警告**

この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



**注意**

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。  
(下記は絵表示の一例です。)



このような絵表示は、してはいけない「禁止」の内容です。



このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」の内容です。

# 安全上のご注意

必ずお守りください

## 警告

### 分解しない、改造しない



火災や感電の原因となります。

禁止

●修理は販売店に依頼してください。

### 電池は充電・分解・ショートしない



電池の破裂や液漏れにより火災、けが、やけどの原因となります。

禁止

## 注意

### 電池は極性（プラスとマイナス）を正しく入れる



間違えると、電池の破裂や液漏れにより火災、けがや周囲を汚損する原因となります。

### 違う種類の電池や、新旧の電池は混ぜて使わない



電池の破裂や液漏れにより火災、けが、やけどの原因となります。

禁止

### ニッカド電池は使わない



万一、内部が破損していた場合、発火の原因となります。

禁止

# 特 長

---

本機はダイバシティ／コンパンダ方式ワイヤレス受信機（WX-RJ800シリーズ）と組み合わせて使用する送信機で、小型軽量化により、屋外における映画、ドラマのロケ取材や緊急報道などの制作現場で音声の収音に活用できます。

- PLL方式の採用により、A型71波の周波数の選択ができます。
- 小型ヘリカルアンテナの採用と、マイクコネクタ部が邪魔にならない形状により、仕込みやすくなっています。
- 送信出力切換スイッチにより、10 mWと5 mWの切換ができます。
- デジタルスイッチの採用により、グループとチャンネルを即時に設定することができます。
- ダイバシティ方式の採用により、伝送系の信頼性および到達距離が向上します。
- コンパンダ方式の採用により、伝送系のダイナミックレンジが向上します。
- 電源表示回路の採用により、乾電池の交換時期がすぐわかります。
- 電源は、入手性の良い単三乾電池を採用しています。
- 感度調節つまみと音声入力レベル表示器により、入力レベルの調整が容易にできます。

# 使用上のお願い

---

「安全上のご注意」に記載されている内容とともに、以下の項目をお守りください。

## ■ご使用のまえに

本機のご使用にあたっては、電波法により陸上移動局の免許が必要ですので、免許申請の手続きを行ってください。

また付属の認証設備証明書は、申請の際必要ですので、なくさないでください。

## ■違法改造しないで

- 本機を改造することは法律で禁じられています。
- 本機内部にある各電気回路は、工場で各種の精密な測定器を用いて厳密に調整されておりますので、ねじをゆるめたり、改造したりしないでください。

## ■技術基準適合証明ラベルについて

- 本機は、電波法で規定される技術基準適合証明品です。機器一台一台にその証明番号（証明ラベル）が貼ってあります。みだりに剥がしたり、損傷の無いようご使用願います。

## ■使用上のお願い

- パワーアンプ、ビデオモニタ、測定器などの発熱の多い機器の上や、夏の締めきった車の中に放置しないでください。保存はなるべく乾燥したところで行ってください。
- 高精度の調整がしてありますので、強い衝撃を受けたり、床などに落しますと特性が変化することがあります。取り扱いには充分ご注意ください。本機に衝撃などが加わると受信機より衝撃音が発生しますので、衝撃を加えないようにしてください。
- 本機は、周囲温度0℃～+40℃の範囲でご使用ください。10℃以下になりますと、使用電池の寿命は短くなりますので、動作時間などにご注意ください。

## ■お手入れについて

- 電源を切り、乾いた柔らかい布でふいてください。  
ほこりがとれにくいときは、水で薄めた台所用洗剤（中性）を柔らかい布にしみ込ませ、固く絞ってから軽くふいてください。そのあと、乾いた柔らかい布で洗剤成分を完全にふき取ってください。
- ベンジンやシンナーなどの溶剤を使用したり、殺虫剤をかけたりしますとケースが変形することがありますから、絶対に使用しないでください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。

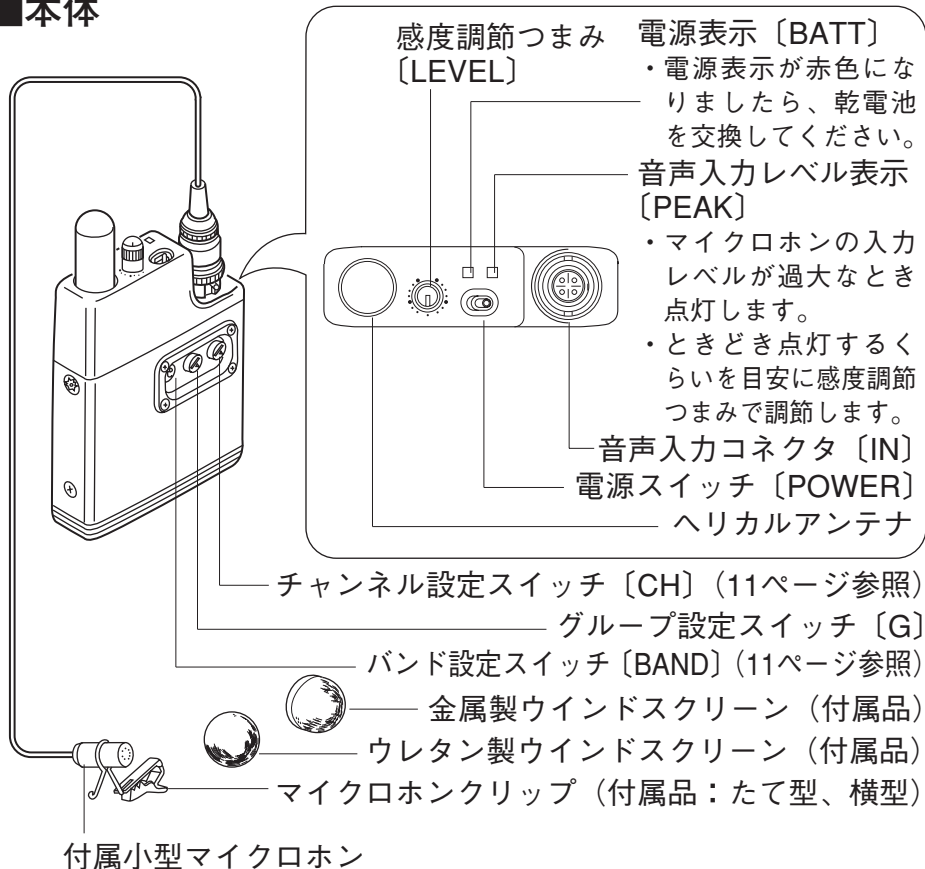
# 上手な使いかた

---

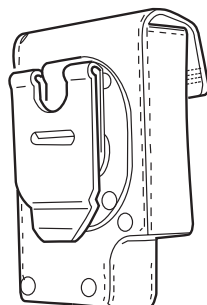
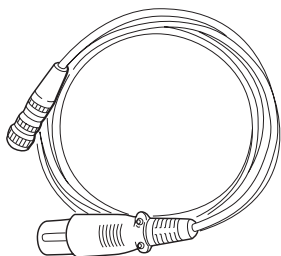
- 本ワイヤレスシステムは、回転機、変圧器、自動車のイグニッション雑音の影響を受けにくい場所を選んで使用してください。
- 周囲に電波が反射するような構造物のないところでは、受信機または受信アンテナを高いところに設置することにより、送信機からの電波を受けやすくなります。
- 送信機と受信機のあいだに、電波を吸収するコンクリートや大勢の人が入りますと、受信レベルが低下し、到達距離が短くなります。
- 送信機同士の距離は50 cm以上離し、送信機と受信機の距離は2 m以上離してください。周波数の干渉により混信を起こすことがあります。
- 本機のアンテナを覆ってしまうと、アンテナの効率が低下しますので到達距離が短くなります。
- 受信機と送信機は同じバンド同士を組み合わせてください。
- 多チャンネル同時運用の際は、送信していない空チャンネル（送信機をOFFにしたチャンネル）の受信機はOFFにしてください。
- 電源ON/OFF時にはクリック音防止のため、受信機に接続する機器のボリュームをしばってください。（アンプ、ミキサーなど）

# 各部の名前

## ■本体



## ■外部マイク用変換ケーブル ■ベルトケース (付属品) (付属品)





# 乾電池の入れかた

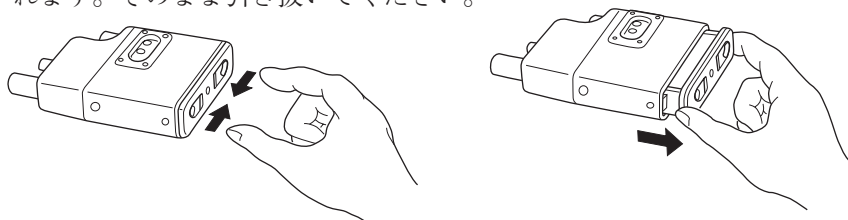
## お願い

- 「安全上のご注意」をよくお読みください。
- 電池の交換は電源スイッチを必ずOFFにしてから行ってください。故障の原因となります。
- 電池の電極や電池ケースの端子は汚れた手で触れないでください。接触不良や雑音の原因となります。汚れたときは乾いたやわらかい布などでよく磨いてください。
- 強い衝撃などを加えた場合、電源表示（バッテリーアラーム）が赤色になる場合があります。その場合は電池を一度外し、再装着することにより正常表示（緑色）に復帰します。

電池はLR6 (G) アルカリ電池2個をお使いください。

## 1 電池ホルダーを外す。

底面のつまみ（両方）を内側にスライドさせると、電池ホルダーが押し出されます。そのまま引き抜いてください。

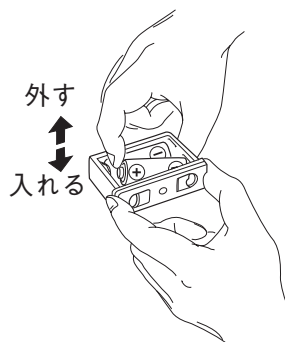


## 2 電池を入れる。

電池のマイナス端子を電池ホルダーのスプリングに押しつけ、プラス端子が完全に入るまで押し込んでください。

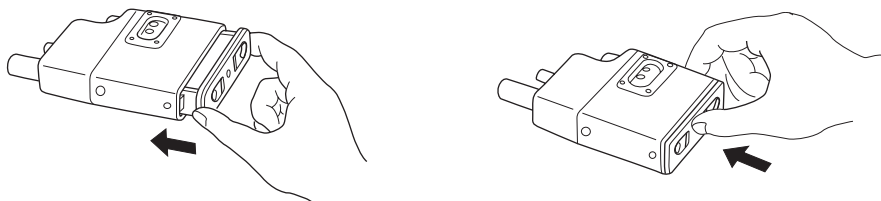
### ●電池の外しかた

電池のプラス端子側を指でひっかけながら、外します。



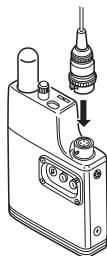
## 3 電池ホルダーを取り付ける。

電池ホルダーを“カチッ”と音がして完全にロックするまで、しっかり押し込みます。（方向性はありません。）



# 音声入力コネクタの接続

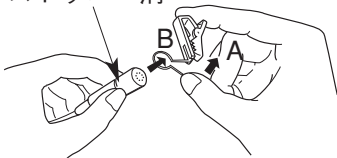
付属の専用小型マイクロホンあるいは、付属の外部マイク用変換ケーブルによる一般のマイクロホンが利用できます。音声入力コネクタを押しながら右に回してロックしてください。  
※音声入力コネクタの保護のため、できるだけ外さないで収納してください。



# マイクロホンクリップの取り付けかた

付属小型マイクロホン用のネクタイピン型マイククリップは、たて型と横型の2種類がありますので、用途に合わせてご使用ください。クリップの取り付けはスプリング部分をつまみ、スプリング内径を広げてマイクヘッドのストッパー溝に合わせて取り付けてください。

ストッパー溝



# ウインドスクリーンの取り付けかた

本機を屋外、または風の多いところでご使用になる時は必ずウインドスクリーンを取り付けてご使用ください。ウインドスクリーンの取り付けは、ウインドスクリーンの根元（樹脂部）を持って時計方向に回しながら静かにマイクヘッドに挿入してください。

ウインドスクリーン



マイクヘッド部

外す時も同様に、時計方向に回しながら静かに抜いてください。

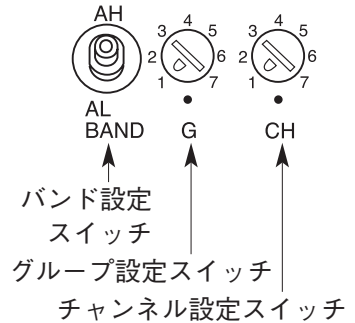
# 周波数設定のしかた

- 受信機と送信機は、同じバンド同士を組み合わせでご使用ください。
- 受信機と送信機は、同じ周波数にてご使用ください。
- 同時に使用する送信機は、全て同じグループにし、全て違うチャンネルにしてください。
- 全ての周波数表において、周波数表示のないところにグループ・チャンネルを設定しても送信できません。

# 周波数設定のしかた

## ■周波数設定のしかた

- ①バンド設定スイッチを受信機と同じ設定に合わせます。
- ②グループ設定スイッチの△を受信機のグループと同じ数字に合わせます。
- ③チャンネル設定スイッチの△を受信機のチャンネルと同じ数字に合わせます。  
(指の腹を押しつけて回転させてください。)  
グループ設定スイッチ、チャンネル設定スイッチは左へ回しきると、1の位置で止まります。



## ■バンド、グループについて

- ①同一場所で、複数の送信機を同時に使用する場合
- 1つのバンド、グループに統一して使います。
- グループ1～4の中から1つ選んでシステムを組めば、最大6チャンネルまで使えます。
- グループ5は5チャンネル、グループ6は1チャンネル使えます。  
(12～14ページ 周波数表をごらんください。)
- ②隣合った125 kHz間隔の周波数は、お互いに影響することがありますので、100 m以内では使用しないでください。
- ③次の条件下で、十分に注意して使用したときは、7波の組み合わせも可能となります。

送信機出力	送信機間の距離	受信機と送信機の距離
5 mW	0.5 m以上離す	5 m以上離す
10 mW	1.0 m以上離す	10 m以上離す

# 周波数設定のしかた

## 周波数 (MHz)

### ●AHバンド

チャンネル グループ	1	2	3	4	5	6	7
7	801.625	801.875	802.375	803.000	804.000	804.875	805.250
※	AH11	AH12	AH32	AH42	AH25	AH45	AH46

### ●ALバンド

チャンネル グループ	1	2	3	4	5	6	7
7	797.125	797.375	797.875	798.500	799.500	800.375	800.750
※	AL11	AL12	AL32	AL42	AL25	AL45	AL46

※欄のグループ・チャンネルに設定しても同じ周波数を送信できます。

(例 AH72=AH12)

④グループを・に設定すると、下表の周波数を送信することができます。

(同一場所で使用できるグループではありません。)

チャンネル バンド	グループ	1	2	3	4	5	6	7
AH	・	805.375	805.500	805.625	805.750	805.875		
AL	・	800.875	801.000	801.125	801.250	801.375	801.500	

## ■AHバンドの周波数表 (MHz)

グループ	チャンネル	1	2	3	4	5	6
1		801.625	801.875	802.625	803.250	804.500	805.000
2		801.750	802.000	802.500	803.375	804.000	804.375
3		802.125	802.375	802.875	803.750	804.125	804.750
4		802.250	803.000	803.500	804.625	804.875	805.250
5		803.125	803.625	803.875	804.250	805.125	
6		802.750					

## ■ALバンドの周波数表 (MHz)

グループ	チャンネル	1	2	3	4	5	6
1		797.125	797.375	798.125	798.750	800.000	800.500
2		797.250	797.500	798.000	798.875	799.500	799.875
3		797.625	797.875	798.375	799.250	799.625	800.250
4		797.750	798.500	799.000	800.125	800.375	800.750
5		798.625	799.125	799.375	799.750	800.625	
6		798.250					

## ■周波数表

### ●AHバンド

周波数 (MHz)	グループ・チャンネル番号					
	1	2	3	4	5	6
801.625	AH11					
801.750		AH21				
801.875	AH12					
802.000		AH22				
802.125			AH31			
802.250				AH41		
802.375			AH32			
802.500		AH23				
802.625	AH13					
802.750						AH61
802.875			AH33			
803.000				AH42		
803.125					AH51	
803.250	AH14					
803.375		AH24				
803.500				AH43		
803.625					AH52	
803.750			AH34			
803.875					AH53	
804.000		AH25				
804.125			AH35			
804.250					AH54	
804.375		AH26				
804.500	AH15					
804.625				AH44		
804.750			AH36			
804.875				AH45		
805.000	AH16					
805.125					AH55	
805.250				AH46		

# 周波数設定のしかた

## ■周波数表

### ●ALバンド

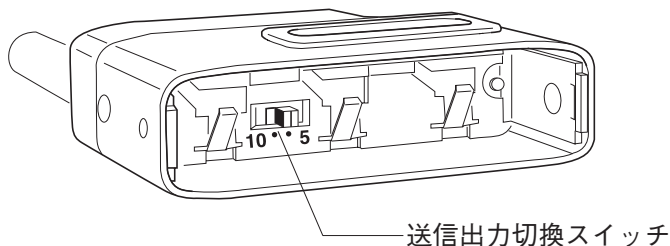
周波数 (MHz)	グループ・チャンネル番号					
	1	2	3	4	5	6
797.125	AL11					
797.250		AL21				
797.375	AL12					
797.500		AL22				
797.625			AL31			
797.750				AL41		
797.875			AL32			
798.000		AL23				
798.125	AL13					
798.250						AL61
798.375			AL33			
798.500				AL42		
798.625					AL51	
798.750	AL14					
798.875		AL24				
799.000				AL43		
799.125					AL52	
799.250			AL34			
799.375					AL53	
799.500		AL25				
799.625			AL35			
799.750					AL54	
799.875		AL26				
800.000	AL15					
800.125				AL44		
800.250			AL36			
800.375				AL45		
800.500	AL16					
800.625					AL55	
800.750				AL46		

# 送信出力の設定のしかた

---

送信出力を5 mWにすると混信を起きにくくすることができます。  
送信出力の設定は、必ず電源スイッチをOFFにしてから行ってください。

- ①電池ホルダーをはずします。(9ページをごらんください。)
- ②電池ホルダー挿入部の中の送信出力切換スイッチのつまみを設定する位置に合わせます。  
(電池端子を押し曲げたり、汚したりしないようご注意ください。)



- ③電池ホルダーを取り付けます。  
(9ページをごらんください。)

# 使いかた

## ■感度調節つまみについて

●マイクの使用法・用途により入力レベルが最適になるように設定します。(工場出荷時は-70 dBです。)

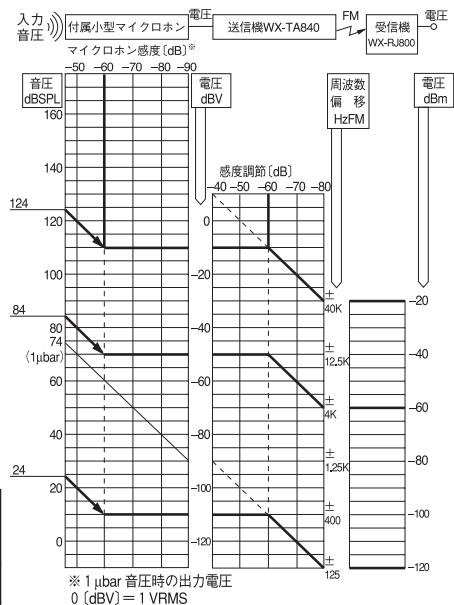
※音声入力レベル表示が頻繁に点灯する場合は感度調節つまみを左に回してときどき点灯するくらいを目安に設定してください。

※音声入力レベル表示がまったく点灯せずに「サー」という雑音が多い場合は右に回してときどき点灯するくらいを目安にしてください。

### 変調感度

使用マイクロホン	感度調節ボリューム
付属マイクロホン	-60 dB
一般ダイナミックマイクロホン	-75 dB
一般コンデンサマイクロホン	-52 dB

## ◎レベルセットダイヤグラム◎



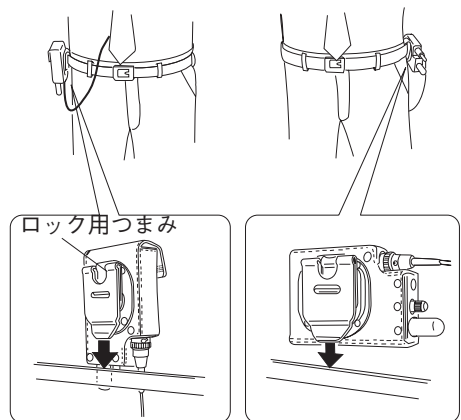
## ■装着について

●マイク部は、マイククリップでネクタイや襟などにとめてください。とめる位置はできるだけ口もとに近い方が、より明瞭な音質が得られます。

※マイクロホンに大きな音が連続的に入ると音がひずみます。

●本体はベルトケースに入れ、クリップでズボンのベルトに取り付けてご使用ください。

※ベルトケースのつまみを押すと、クリップが回転し、90°おきにロックしますので、使いやすい方向に設定してください。





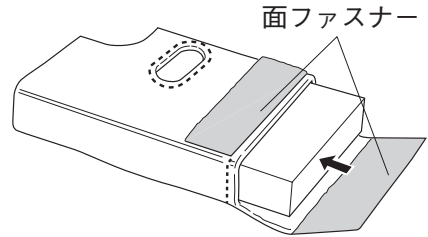
---

## ■音声出力について

- 電源スイッチONから電源表示が点灯するまで約2秒間は受信機より音声出力は出ません。電源表示が点灯してからご使用ください。

## ■ベルトケースの取り付け について

- ベルトケースのマジックファスナーを開けワイヤレス送信機を挿入します。



# 定格・付属品

## ■定格

送信周波数：797.125 MHz～805.875 MHz 71波中の1波(周波数表による)  
電波形式：F3E  
送信周波数偏差：±20×10<sup>-6</sup>以内(25±15℃)  
占有周波数帯域幅：110 kHz以下  
使用電池：単三乾電池 アルカリ LR6 (G) 1.5 V×2  
電池寿命：(常温連続使用にて) 約14時間 アルカリ LR6 (G)  
周囲温度：0℃～+40℃  
空中線電力：10 mW / 5 mW  
発振方式：水晶制御 PLL シンセサイザ方式  
変調方式：リアクタンス変調方式  
アンテナ形式：ヘリカルアンテナ  
到達距離：受信機 WX-RJ800にて見通し約90 m (10 mW時)  
最大変調感度：+10 dBV (±40 kHz FM、「LEVEL」-40 dB時)  
最大周波数偏移：±40 kHz FM以下  
基準変調感度：-60 dBV (±4 kHz FM、「LEVEL」-70 dB時)  
基準周波数偏移：±5 kHz (-56 dBV入力、「LEVEL」-70 dB時)  
信号対雑音比：60 dB以上 (Aカーブ、±4 kHz FM、「LEVEL」-70 dB時)  
ダイナミックレンジ：100 dB以上 (Aカーブ、±40 kHz FM、「LEVEL」-70 dB時)  
プリエンファシス：50 μsec  
トーン信号：32.927 kHz (±1.6 kHz FM)  
音声信号処理：2：1デシリニア圧縮  
周波数特性：40 Hz～15 kHz  
ひずみ率：1.0%以下 (±12.5 kHz FM)  
入力インピーダンス：約3 kΩ、不平衡  
入力コネクタ：KMC-9BPD-4S (4ピン ヒロセ製)  
音声入力レベル表示：最大変調入力から-8 dB以内で点灯  
電源表示：電源電圧 約2.1 V以下で赤色点灯  
寸法：64 (幅)×90 (高さ)×18 (奥行き) mm  
質量：約160 g (電池含む)  
仕上げ：インディゴブルー色塗装

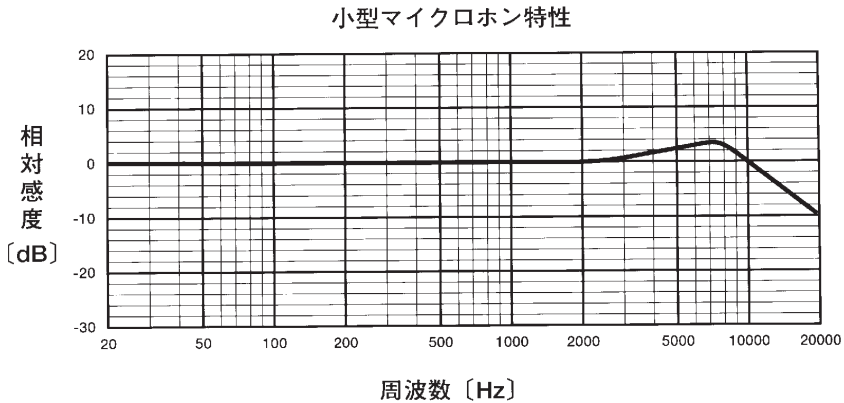
[付属小型マイクロホン]

方式：バックエレクトレット・コンデンサ型  
指向性：無指向性  
マイクロホン感度：-40 dBV ±3 dB (0 dB=1 V / Pa)  
最大入力音圧：130 dB SPL  
外形：カプセルφ 6×12 (mm)、ケーブル長約1.2 m

## ■ 付属品

ラベリアマイクロホン (WM-LA02) .....	1
ネクタイピン型マイククリップA (よこ形) .....	1
ネクタイピン型マイククリップB (たて形) .....	1
ウインドスクリーン (金網) .....	1
ウインドスクリーン (ウレタン) .....	1
ソフトケース .....	1
ベルトケース .....	1
電池ホルダー (うち 1 個は本体に取付済み) .....	2
外部マイク用変換ケーブル (XLR-3-11C ←→ KMC-9BPD-4P) .....	1
認証設備証明書 .....	1
免許申請の手引き .....	1

## 周波数特性



# 保証とアフターサービス（よくお読みください）

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は・・・  
まず、お買い上げの販売店へお申し付けください。

## ■保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

## ■補修用性能部品の保有期間

当社は、このコンパンダ方式 ENGワイヤレス送信機の補習用性能部品を、製造打ち切り後7年保有しています。

注）補修用性能部品とは、その製品の性能を維持するために必要な部品です。

## ■修理を依頼される時

まず電源を切ってから、お買い上げの販売店へご連絡ください。

### ●保証期間中は

保証書の規定に従って、お買い上げの販売店が修理させていただきますので、恐れ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。

### ●保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

### ●修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されます。

**技術料** は、診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

**部品代** は、修理に使用した部品および補助材料代です。

**出張料** は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

## 松下電器産業株式会社

## AV&セキュリティビジネスユニット

〒223-8639 横浜市港北区綱島東四丁目3番1号

電話 フリーダイヤル 0120-878-410